



校訓：「感謝」「勤勉」「鍛錬」

商業科通信

2024年1月16日(火)

秋田商業高等学校
商業科
文責：柏谷亜紀子

大正9年開校
創立104年目

SDGs の考えは古くて新しい！！

皆さんは、「三方よし」という言葉を知っているでしょうか。これは日本三大商人の一つに挙げられる「近江商人」の経営理念で、日本に古くから伝わる考え方です。三方というのは、“売り手”、“買い手”そして“世の中”の3つのことで、その3つすべてにとって利益が生まれる『商い＝ビジネス』が大切だということです。

今年度は、ビジネス実践活動でSDGsの考えを取り入れた活動を行ってきました。教科書にもそれぞれの教科の視点からSDGsについて取り上げられていたり、企業でもSDGs宣言を行ったりと、世の中全体がSDGsの目標達成を目指すことで、持続可能な社会の実現に向けて動き出しています。

「SDGs」と「三方よし」は似ていると思いませんか？この2つの目指すところは同じです。つまり、江戸時代から続く考え方と現在世界中で取り組まれていることが同じということです。私たちが商業高校で勉強しているビジネスは、国際化、情報化、ライフスタイルの変化など多くの変化に対応していかなければならないため、柔軟な考え方が必要になってきますが、「三方よし」のように、昔から続く普遍的な側面を持っていることも忘れてはならない大事なことです。

“変化”の根底には“不易（不変）”があります。変化に対応することはあっても、惑わされず真実を見抜く力を秋商での学習を通して身に付けてください。

2024年も一緒に頑張りましょう！！



3学期は、全商簿記実務検定、情報処理検定、商業経済検定、日商簿記検定と続きます。当日受験できなければ来年度再度挑戦ということになります。検定に向けた勉強はもちろんですが、持っている力を十分に発揮できるように体調管理もしっかりと行いましょう。

商業科活動紹介

～全国高等学校生徒商業研究発表大会秋田県予選

全県優勝～



7月13日に行われた第31回全国高等学校生徒商業研究発表大会秋田県予選に、AKISHOP地元生産者班が参加しました。この大会は、商業科目を学ぶ高校生が研究テーマを設定し、その研究の成果を発表するものです。今年度は、生産者の思いを汲みながら秋田の魅力発信に向けて取り組んだという内容の発表で、18年ぶりの全県優勝となりました。

商業だけでなく、農業や製造業など産業全体に目を向けた発表であり、産業教育フェアや秋田県産業教育審議会でも発表し、多方面から高い評価をいただきました。

【タイトル】

「Sixth Industrialization From AKISHO ～売れないものに付加価値を～」

【発表者】

櫻田結芽さん（3A）、下田陽翔さん（3B）、宇佐美綾乃さん（3E）

加藤之愛さん（3F）、佐藤帆乃咲さん（3F）

【発表内容】

秋田県の農業課題に着目し、「農業×加工業×商業の協働」（6次産業化）によって、消費者のニーズに応える魅力ある商品を開発し、地域のPRにつなげるための活動内容を発表しました。規格外の野菜を加工して新たな価値を生み出す商品開発や販売を通して、販路拡大などプロモーションに関する新たな課題も発見することができました。

卒業生の活躍について（詳細は裏面）

本校卒業生で、野球ビジネスに関する会社を経営し、SDGsを実践している米沢谷友広さん（高52期：硬式野球部）から、お話を伺うことができました。

秋田商業高校で勉強したことがどのように役立っているか、在校生へのメッセージなど、今勉強していることが世の中とどのようにつながっているかを考えながら裏面の記事をぜひ読んでください。

お忙しい中、後輩のためならと快くお引き受けいただいた米沢谷友広さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

裏面につづく

卒業生の活躍～グローバルポーターズ株式会社 代表取締役 米沢谷 友広氏 ～

○どのような仕事をしていますか？また、その仕事をするようになったきっかけは何ですか？

2017年から野球ビジネスの会社を運営しています。メインは、使い古された野球グローブを再生して販売する「Re-Birth(リバース)」です。東京都内に4店舗と全国のお客様に向けたオンラインサイトを運営しています。野球グローブはハンドメイドの革製品ですので、大事にメンテナンスやリメイクすれば30年以上使うことができますが、「何年も自宅に眠っていたり、廃棄されたりすることが多い」という情報を耳にし、「グローブを再生する技術があれば、使われなくなったグローブを生まれ変わらせて次のプレイヤーに繋いでいくことができる」と考え、このRe-Birth事業を着想しました。今後も**お客様満足を追求めた新しい価値を創出し、持続可能な野球環境をつくっていきたい**と考えています。

秋商硬式野球部の先輩が30年前に使用していたグローブを再生



Before



After

○プロフィール

名前：米沢谷 友広(よねざわや ともひろ)

出身中学校：横手市立金沢中学校

卒業年：2001年3月(高52期)

在学中の所属部活名：硬式野球部



○秋田商業高校で学んだこと、経験したことがどのように役立っていますか？

簿記です。前校長の山脇聡先生が担任で、授業は簡潔明瞭、楽しく、時に厳しく、相当鍛えられました。簿記によって得られる会計知識や経験はビジネスをしていくうえで必要不可欠です。クラウド化、そしてAI化していく社会ではありますが、簿記をはじめとした商業科目の構造を知り、機動的に活用していくことは将来にわたって普遍的に役立つことと考えています。私の場合、会社を運営していくうえでは勿論のこと、起業前に勤めていたAmazon Japanへの転職時もマネジメントスキル、ファイナンススキルの1つとして高く評価されました。**秋商で習った基礎を応用して使いこなし、自分の経験としてアウトプットし続ける**、と思わぬところで「高校時代に努力したことが強みに変わる」と感じています。

○高校時代に頑張ったことや印象に残っていることは何ですか？

3年生の時に出場した甲子園です。石川投手(東京ヤクルトスワローズ)に憧れ、甲子園を目指して横手市から入学。下宿生活をしながら毎日野球に打ち込みました。夏の県大会決勝では攝津投手(元ソフトバンクホークス)と対戦。チーム一丸となって見事勝利しました。一番の思い出は、**硬式野球部に入部した同期31名が1人も辞めることなく、全員で甲子園に行けたこと**です。夏の大会前に同級生が部誌に書いた「1日は長く、3年間はあっという間だった。3年にとって最後の夏。みんなと最高の夏にしたい」という言葉は今でも鮮明に覚えています。

左から2人目が米沢谷さん→



○在校生へのメッセージ

私の好きな言葉に、孔子の「**天才は努力する者に勝てず、努力する者は楽しむ者に勝てない**」という格言があります。みなさんにも好きなことや得意なことがきっとあると思います。もしかしたら在学中に見つかったり、すでにあるのに気づいていないだけかもしれません。ぜひ、残りの秋商ライフを仲間と楽しみ、次のステップでも好きなことや得意なことを伸ばし、そして楽しみながら人生を切り拓いていっていただきたいと願っています。